

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.10.5 No.242 連絡先 FAX 042-555-1911



F-35 アジア太平洋のエンジン整備拠点 IHI (東京・瑞穂町)



「米国政府は、2014年12月、アジア太平洋地域におけるF-35の整備拠点(リージョナル・デポ)について、機体の整備拠点については、2018年初期までに日本及びオーストラリアに設置すること。エンジンの整備拠点については、2018年初期までにオーストラリアに設置し、追加的な所要に対応するため3～5年後に日本にも設置することを決定した旨公



表しました。日本における機体の整備拠点は三菱重工業株式会社(愛知県:小牧南工場)、エンジンの整備拠点は株式会社IHI(東京都:瑞穂工場)を予定しています。なお、整備拠点における具体的な整備の対象機や整備の作業内容等については、今後米国政府等と調整

を進めてまいります。」と、防衛省が2014年12月18日にお知らせをしています。

IHI瑞穂工場はアジア太平洋地域の整備拠点なのですね。重要な問題が国民不在です。

オスプレイ 自衛隊観艦式への参加のため また横田基地へ飛来か

防衛省(北関東防衛局)から「本日(10月1日)、米側から、米海兵隊のMV-22オスプレイ1機から2機が、平成27年度自衛隊観艦式への参加に伴い、10月11日(日)から横田飛行場に飛来する可能性がある」旨の情報があ



ったそうです。なお、27年度自衛隊観艦式は、10月18日(日)に実施予定。また、観艦式の事前公開を同月12日(月)、15日(木)に実施予定だそうです。(写真:2015年9月15日撮影)

18日(日)に行われるのは28回目の観艦式で、相模湾を会場に行われます。

艦船の停泊地として、横須賀(きりしま、むらさめ、あたご、てるづき)、横浜大さん橋(いずも)、横浜新港ふ頭(くろべ、ちはや)、木更津(あすか、ちょうかい、こんごう)があげられており、例年、横須賀、横浜、木更津、晴海などで開催前に艦艇の一般公開、停泊港では電灯艦飾なども行われるそうです。訓練展示では護衛艦からのヘリコプター発艦をはじめ、P-3Cによる対潜爆弾投下、IRフレア発射、US-1A、またはUS-2による離着水が行われるようです。

なかなか派手に行われる自衛隊観艦式ですが、オスプレイを参加させようとしています。

オスプレイの離発着訓練のため 東富士演習場への飛来情報も

南関東防衛局のホームページには、「米海兵隊のMV-22オスプレイ1機から3機が、10月12日(月)から16日(金)までの間、東富士演習場において離発着訓練を実施する可能性がある」との情報提供があります。厚木基地が拠点になるのでしょうか。厚木基地には、9月26日に3機、28日に1機のオスプレイが飛来し、近場の訓練飛行や、仙台・霞の目駐屯地までの往復飛行も行い、空母に近づく飛行も行ったとみられます。4機は2日に厚木を離陸、沖縄に。

横田基地日米友好祭(19、20日) 185,000人以上が参加 (No. 242 の裏面)



友好祭は、乳母車に乗せられた赤ちゃんから、杖をついたお年寄りまで、とにかく人出が多かった。

19日未明、戦争法が強行採決されたが、怒りはないのだろうか。ながながと大声で文句を言う人もいた。「おまえたちは負けたんだ」と叫んだ人もいた。しかし、新しいたたかいは始まっている。

友好祭パラシュート降下は 沖縄・読谷の第1大隊(トリステーション)



前号でお知らせしたとおり、9月15日、16日の夜間のパラシュート降下訓練(44人)と、19日、20日の友好祭のパラシュート降下(40人)した部隊は、米太平洋軍のホームページなどから、第1特殊作戦群・第1大隊(沖縄・読谷村のトリステーション:写真)であることが分かりました。(第1特殊作戦群の担当はアジア/太平洋地域です。韓国には第39特殊部隊分遣隊が常駐しています)



米軍横田基地のホームページにも多数の写真などがアップされました。左の写真はその一つですが、兵士と写真を撮っている日本の子供です。「第1大隊の米陸軍中尉は友好祭の期間、子供を祝福している。中尉のメンバーは、友好祭でパラシュート降下した。」とコメントされています。

あれもこれも 19日、展示されていた軍用機の一覧 (右回りで展示の順)



UH-1N (米空軍・横田基地)、C-12J (米空軍・横田基地)、U-4 (空自・入間基地)、C-130H (空自・小牧基地)、C-130H (米空軍・横田基地)、HH-60G (米空軍・嘉手納)、CH-47J (空自・入間基地)、CH-47J (陸自・相馬原駐屯地)、UH-60J (空自・百里基地)、C-17A (米空軍 Hickam/Hawaii)、KC-135R (米空軍・嘉手納基地)、

P-8A (米海軍)、EA-6B (米海兵隊)、E-3B (米空軍・嘉手納基地)、KC-767 (空自・小牧基地)、MV-22B (米海兵隊・普天間基地)、F-15C (米空軍・嘉手納基地)、F-15C (米空軍・嘉手納基地)、F-15J (空自・百里基地)、T-4 (空自・入間基地)、A-10 (米空軍・オーサン基地)、A-10 (米空軍・オーサン基地)、F-2A (空自・三沢基地)、U-125A (空自・新潟分屯基地)、RF-4EJ (空自・百里基地)、F-16CM (米空軍・三沢基地)、F-16CM (米空軍・三沢基地)、YS-11P (空自・美保基地)。(詳細は [yokotajoho](#) のブログ)

アフガニスタンで米軍C130輸送機墜落、11人死亡

「10月2日午前0時20分(日本時間同日午前4時50分)ごろ、アフガニスタン東部のジャラバード空港で、米空軍のC130輸送機が墜落し、米軍によれば、乗っていた米兵6人と乗客5人の計11人が死亡した。原因は不明で、撃墜された形跡があるかどうかも分かっていない。原因の解明に向け、米軍が調査と情報収集に当たっているという。」と報道されました。

今年6月30日、C-130が、インドネシアで住宅地に墜落しました。死傷者は多数のようです。C130輸送機の安全神話はないのです。横田基地周辺の住宅地上空での、訓練飛行は禁止を！